

エビデンス

(化粧品・医薬部外品原料)

製品名：マリンプラセンタ®

改訂日：令和元年9月1日

製品略号：MPC

【育毛に関する試験】

化粧品・医薬部外品原料マリンプラセンタの C57BL/6 マウスを使った育毛に関する試験を行った。

【試験機関】

大連医科大学中日合作医薬科学研究所（中国・大連）

【試験期間】

25日間塗布（2009年12月3日～2009年12月28日）

【試験方法】

マウスの背中中の毛髪を脱毛させ、脱毛当日から、マリンプラセンタを 0.2 ml、1日2回、連続して25日間、マウスの背中中の脱毛区域に塗布した。

【試験結果】

マウスの皮膚色の变化

毎日、マウスの背中中の脱毛区域の色を1匹ずつ観察し、毛髪成長周期を以下の3つの期間に分けて記録し、写真を撮影した。

マリンプラセンタによる毛髪成長周期に対する影響			
群構成	脱毛してから皮膚が黒くなるまでの日数 (12匹)	皮膚が黒くなり始めてから毛髪が皮膚の表面から出てくるまでの日数 (12匹)	皮膚が黒くなり始めてから皮膚が灰色に変わり始めるまでの日数 (8匹)
Control 群	6.83±1.03	5.58±0.67	9.38±0.74
マリンプラセンタ塗布群	6.33±0.78	5.17±0.39	>19**

**: $p<0.01$

C57BL/6 マウスは脱毛後に、その皮膚の色が赤色から黒色に変わって、灰色に変わってから再び赤色にもどる。それぞれ毛髪が休止期 (telogen) から成長期 (anagen)、退行期 (catagen) に変わり、それからまた休止期に戻ることを示しているため、皮膚の色の变化から毛髪成長周期を判断することができる。

マリンプラセンタ塗布群の皮膚が黒くなり始めてから皮膚が灰色に変わり始めるまでの日数が Control 群より明らかに長く、その差は、統計学的に有意であった ($p<0.01$)。さらに、試験終了時 (25日) まで、マリンプラセンタ塗布群は、黒い皮膚が全部灰色に変わらなかったことが、マリンプラセンタが、マウス毛囊の成長期を延長させ、退行期と休止期を遅らせたことを示した。

【まとめ】

脱毛したマウスへのマリンプラセンタの皮膚への塗布により、毛囊成長の成長期を延長させ、さらに退行期と休止期を遅らせた。また、Control 群より、明らかに真っ黒光沢毛髪の持続期間を長く伸ばしたことから、マリンプラセンタの皮膚への塗布による毛髪成長促進作用が認められた。

「マリンプラセンタ」は株式会社日本バリアフリーの登録商標です

当社の登録商標の使用を希望される場合には、当社への事前の連絡及び当社の許諾が必要となります。

※当社製品を配合した化粧品等の表示・広告宣伝は関連法規に従ってください。

※当資料にある文章・画像等の無断転載・使用を禁止いたします。